

令和7年度 地域包括支援センター事業評価報告

1. 目的

地域包括ケアシステムの構築に当たり、地域包括支援センターの運営が安定的・継続的に行われるよう、本市の定める運営方針等を踏まえた効果的・効率的な運営がなされているか等、地域包括支援センターの事業評価を実施し、その結果を活かしてより良い運営・活動に向けた取り組みを推進することを目的とする。

2. スケジュール

令和7年7月下旬	評価票回収
令和7年9月～10月	各地域包括支援センターへのヒアリング
令和8年1月下旬	評価結果を各地域包括支援センターに通知
令和8年2月10日	伊丹市地域包括支援センター運営協議会にて評価報告、意見聴取後、ホームページ等で公表

3. 評価指標の概要

国により、地域包括支援センターの事業に係る評価指標（市町村用・センター用）が示されており、当該指標に基づく評価票を市町村と地域包括支援センターが、それぞれ作成し、国に報告することとされている。

○評価分野

1) 地域包括ケアシステム及び構築・推進	市町村全体を踏まえた担当圏域の現状および将来像やニーズの把握状況を評価するもの
2) 組織・運営体制	3職種の配置状況等、地域包括支援センターの組織運営体制を評価するもの。
3) 総合相談支援事業	総合相談支援を適切に実施するための取組を評価するもの。
4) 権利擁護事業	高齢者の権利擁護のための業務を適切に実施するための取組を評価するもの。
5) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	適切なケアマネジメントが行われるための地域における連携・協働の体制づくり等の取組を評価するもの。
6) 地域ケア会議	多職種連携による地域ケア会議の取組状況を評価するもの。
7) 介護予防ケアマネジメント 介護予防支援	介護予防ケアマネジメントの実施状況を評価するもの。
8) 包括的支援事業 (社会保障充実分)	医療関係者と合同の事例検討会への参加など、在宅医療・介護連携推進事業、その他認知症初期集中支援事業、生活支援体制整備事業等における連携状況を評価するもの。

4. 結果

1) 基幹型地域包括支援センターの評価

(1) 指標の達成度

			(%)
	令和7年度	令和6年度	令和5年度
1. 地域包括ケアシステム構築・推進	100	—	—
2. 組織・運営体制	81.3	94.7	94.7
3. 総合相談支援事業	91	100	100
4. 権利擁護事業	100	100	100
5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	100	100	100
6. 地域ケア会議	100	100	100
7. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	93.3	83	83
8. 包括的支援事業(社会保障充実分)	100	100	100

※国から示されている事業評価方法について、「担当圏域を持たずに、市業務と一体化している基幹型地域包括支援センターにおいては、市とみなして評価を実施すること」とされており、市と基幹型地域包括支援センターとが一体となった事業評価となる。

※令和7年度は、指標の内容や項目数が変更されている

(2) 評価

基幹型地域包括支援センターは、各地域型地域包括支援センターが実施する業務の後方支援や、事務の集約、人材育成のための研修会の開催等の役割を担っており、市と地域型地域包括支援センター間の総合調整の役割を果たすことができている。

(3) 達成できていない指標について

2. 組織・運営体制
Q：(新指標) センターの人材確保や定着を進めるための取組を行っていますか。 (令和7年4月末時点)
A：各包括の人材状況を把握し、市が実施する介護人材確保事業を活用する等、必要に応じた人材確保や定着を図るための取り組みを行う。

3. 総合相談事業
Q：(新指標) センターにおける相談件数や相談内容を分析して、その分析結果をもとに相談支援体制を改善していますか。(令和6年度実績)
A：相談件数や相談内容の分析は行っているが、その結果をもとに相談支援体制の改善までにはいたっていないため、今後は必要に応じて体制について検討をおこなう。

7. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援
Q：(継続指標) 利用者のセルフマネジメントを推進するため、介護予防手帳などの支援の手法を定め、センターと共有し、活用していますか。(令和7年4月末時点)
A：市が示す手法を介護予防手帳のみならず、フレイル予防や健診情報等幅広い情報提供を行うとともに、介護予防手帳においても、介護予防事業連絡会議で協議し見直しをおこない、より活用しやすいものにすることで、高齢者が介護予防や健康維持・増進に向けたセルフケアができるように取り組む。

2) 地域型地域包括支援センターの評価

(1) 指標の達成度 【地域型地域包括支援センター平均】

			(%)
	令和7年度	令和6年度	令和5年度
1. 地域包括ケアシステム構築・推進	94.4	—	—
2. 組織・運営体制	97.8	98	98
3. 総合相談支援事業	100	100	100
4. 権利擁護事業	100	97.8	97.8
5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	100	96.3	96.3
6. 地域ケア会議	100	98.9	98.9
7. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	88.9	80	80
8. 包括的支援事業(社会保障充実分)	100	93.3	93.3

※令和7年度は指標の内容や項目が変更されている

(2) 評価

市内9つの地域型地域包括支援センターの平均を示しており、達成率は高い水準である。

また、評価票に基づいて各地域型の業務ヒアリングを実施した。いずれの地域包括支援センターにおいても、運営指針等を理解し、公平・中立な立場で市の施策との整合性を図りながら運営することができていた。

特に、複雑困難化する個別の相談支援、地域の介護支援専門員の支援、介護予防支援については、いずれの地域型においても、これまでと同様に比重が高くなっているが、限られた職員数の中で滞りなく業務を行えている。さらには、地域づくり等の多様な業務も併せて、偏りなく遂行できている。

また、関係機関との連携も密に図っており、地域課題の共有や顔の見える関係性の構築を行うことで、日々の業務をより円滑に行うことに繋がっている。

(3) 達成できていない指標について

2. 組織・運営体制
Q：(新指標) センター長等の責任者の役割を文書で明確に示し、職員に周知していますか。(令和7年4月末時点)
A：管理者の役割を職員間では認識しているものの、文書にて明記をしていなかったため、伊丹市地域包括支援センター運営指針にて、管理者の役割を示し、周知をおこなう。
7. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援
Q：(継続指標) 利用者のセルフマネジメントを推進するため、市町村から示された支援の手法を活用しているか(令和7年4月末時点)
A：この指標の趣旨は、利用者自身のセルフマネジメントに資する手法が市町村から提示されそれを地域包括が活用していることを評価するものである。活用について、市として多様な手法を提供するとともに、介護予防手帳については、介護予防事業連絡会議で協議し見直しをおこない、より活用しやすいものにすることで、高齢者が介護予防や健康維持・増進に向けたセルフケアができるようにしていく方針である。

1. 令和7年度 基幹型地域包括支援センター事業評価

資料1別添
(参考資料)

		達成率	100.0%
1. 地域包括ケアシステム構築・推進		評価点数	4
(1)活動目標1:市町村の目指している地域包括ケアシステムの構築において、市町村が計画的にセンターを活用する。		点数	4
1	市町村および日常生活圏域の高齢者等に関する分析結果や地域課題等をもとに、センター数や設置形態等を協議し見直していますか。(今年4月末時点)	/	○
2	市町村における介護保険事業全体の取組状況を踏まえ、センターが担う業務を協議していますか。(今年4月末時点)		○
3	市町村の総合評価結果や評価分野別評価結果をもとに、センター機能を強化するための取組の見直しを行っていますか。(今年4月末時点)		○
4	センターの機能や実績を踏まえて、包括的支援体制における役割等を決めていますか。(今年4月末時点)		○
2. 組織・運営体制		達成率	81.3%
		評価点数	13
(1)活動目標2:評価結果およびそれをもとにした運営協議会の議論やセンターとの協議を踏まえて、事業の実施方針や支援・指導方針を策定し、それを実施できる予算を確保する。		点数	4
5	(各)センターの総合評価結果や評価分野別評価結果をもとに、センター機能を強化するため、センターごとの運営方針や支援・指導方針を協議していますか。(前年度実績)	/	○
6	前年度の評価結果に関する運営協議会での検討を踏まえて、センターの事業の実施方針や支援・指導方針を策定していますか。(前年度実績)		○
7	センターが実施方針に則った事業運営ができるように、運営予算を毎年見直し、確保していますか。(前年度実績)		○
8	年度ごとのセンターの事業計画の策定にあたり、センターと協議を行っていますか。(前年度実績)		○
(2)活動目標3:実施方針に基づいてセンターが効果的に運営できるように、人員配置や人材育成に取り組む。		点数	3
6	センターの人材確保や定着を進めるための取組を行っていますか。(今年4月末時点)	/	×
7	評価結果やヒアリングなどからセンターのニーズを把握し、それをもとにセンター職員の資質向上のための研修を計画していますか。(今年4月末時点)		○
8	センターの人員確保の現状を踏まえ、複数圏域で合算した3職種の配置(介護保険法施行規則第140条の66第1号ロの規定)とするなど柔軟な職員配置に取り組んでいますか。(今年4月末時点)		○
9	センターの業務効率化を目的に、センター業務にICTを導入していますか。(今年4月末時点)		○
(3)活動目標4:高齢者等が必要な時にセンターを利用できるように、センターの周知を行う。		点数	1

10	対象に応じた様々な方法でセンターを周知していますか。(今年4月末時点)	/	○	
11	センターの認知度を踏まえて効果的な周知を計画していますか。(前年度実績)		×	
(4) 活動目標5: *中間アウトカム指標* 地域包括支援センターの認知度		点数	0	
12	「地域包括支援センターの認知度」を、評価指標として採用していますか。(今年4月末時点)	/	×	
(5) 活動目標6: センターが個人情報保護等に留意しながら運営できるように体制支援を行う。			点数	4
14	個人情報保護に関する市町村の取扱方針をセンターに示しているか。		/	○
15	個人情報漏えいが起こった際の対応策をセンターと共有していますか。(今年4月末時点)			○
16	苦情内容の記録等、苦情対応に関する市町村の方針をセンターと共有していますか。(今年4月末時点)	○		
17	利用者や家族からのカスタマー・ハラスメントにセンターが対応できるよう支援していますか。(前年度実績)	○		
(6) 活動目標7: *センター指標におけるアウトプット指標・中間アウトカム指標*		点数	1	
18	センター指標の「2. 組織・運営体制」に関するアウトプット指標または中間アウトカム指標を市町村が設定していますか。(今年4月末時点)	/	○	
3. 総合相談支援事業			達成率	91%
		評価点数	10	
(1) 活動目標8: センターが総合相談支援事業を適切に実践できるよう、総合相談支援体制の構築に取り組む。		点数	5	
19	総合相談支援事業に関するセンターの後方支援体制を構築していますか。(今年4月末時点)	/	○	
20	センターに対して、夜間・早朝または平日以外の窓口(連絡先)の設置を義務づけ、市町村やセンターのホームページ等で周知していますか。(今年4月末時点)		○	
21	センターからの相談事例に関する支援要請に対応していますか。(前年度実績)		○	
22	市町村レベルの関係団体(民生委員等)の会議に定期的に参加していますか。(前年度実績)		○	
23	日常生活圏域ごとの相談支援ニーズ等をセンターが効果的に受け止められるようランチ等を戦略的に活用していますか。(今年4月末時点)		○	
(2) 活動目標9: センターにおける相談件数や相談内容を把握して、相談支援体制の改善を図る。			点数	3
24	センターにおける相談事例の分類方法を定め、相談件数や相談内容の特徴を把握していますか。(前年度実績)	/	○	
25	センターが対応した家族介護者等からの相談について、相談件数や相談内容の特徴を把握していますか。(前年度実績)		○	
26	センターと協議しつつ、センターにおいて受けた相談事例の最終条件を定めていますか。(今年4月末時点)		○	
28	センターにおける相談件数や相談内容を分析して、その分析結果をもとに相談支援体制を改善していますか。(前年度実績)		×	
(3) 活動目標10: *センター指標におけるアウトプット指標・中間アウトカム指標*		点数	1	
29	センター指標の「3. 総合相談支援事業」に関するアウトプット指標または中間アウトカム指標を市町村が設定していますか。(今年4月末時点)	/	○	
(4) 複合的な課題を持つ世帯等への総合相談支援			点数	1
30	センターが、介護、子育て、障害等に関して複合的な課題を持つ世帯への相談に対応できるよう、市町村としてどのような取組を行っていますか。(前年度実績)	/	○	
			達成率	91%
		評価点数	10	

		達成率	該当するものに○
●4. 権利擁護事業		達成率	100%
		評価点数	5
(1) 活動目標11:センターが権利擁護事業を遂行するための体制構築に取り組む。		点数	4
31	成年後見制度の市町村長申立てに関する判断基準をセンターと共有していますか。(今年4月末時点)		○
32	高齢者虐待事例及び高齢者虐待が疑われる事例への対応の流れを整理し、センターと共有していますか。(今年4月末時点)		○
33	センターまたは市町村が開催する高齢者虐待防止に関する情報共有、議論及び報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討していますか。(前年度実績)		○
34	消費生活に関する相談窓口及び警察に対して、センターとの連携についての協力依頼を行っていますか。(今年4月末時点)		○
(2) 活動目標12: *センター指標におけるアウトプット指標・中間アウトカム指標*		点数	1
35	センター指標の「4. 権利擁護事業」に関するアウトプット指標または中間アウトカム指標を市町村が設定していますか。(今年4月末時点)		○
●5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業		達成率	100%
		評価点数	6
(1) 活動目標13:センターが包括的・継続的ケアマネジメント支援事業を適切に行うための体制を支援する。		点数	5
36	日常生活圏域ごとの居宅介護支援事業所のデータ(事業所ごとの主任介護支援専門員・介護支援専門員の人数等)を把握し、センターに情報提供していますか。(今年4月末時点)		○
37	介護支援専門員を対象に、包括的・継続的ケアマネジメントを行うための課題や支援などに関するアンケートや意見収集を行い、センターに情報提供を行っていますか。(前年度実績)		○
38	地域の介護支援専門員の実践力向上を図ることなどを目的とした、地域ケア会議や事例検討等を行うことができるように、センター職員を対象とした研修会を開催していますか。(前年度実績)		○
39	センターが介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類し、経年的に件数を把握するとともに、そのニーズに応じた介護支援専門員を対象とした研修会等を計画していますか。(今年4月末時点)		○
40	介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者(例:医療機関や地域における様々な社会資源など)との意見交換の場を市町村が設けていますか。(前年度実績)		○
(2) 活動目標14: *センター指標におけるアウトプット指標・中間アウトカム指標*		点数	1
41	センター指標の「5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業」に関するアウトプット指標または中間アウトカム指標を市町村が設定していますか。(今年4月末時点)		○
●6. 地域ケア会議		達成率	100.0%
		評価点数	20
(1) 活動目標15:地域ケア会議のすべての機能を発揮する地域ケア会議の体系を構築し、すべての機能を果たす。		点数	5
42	各レベルに(一つのレベルであっても多様な機能を果たす)地域ケア会議を設置し、それぞれが連動する体系をつくっていますか。(今年4月末時点)		○
43	地域課題や自立促進要因を把握・整理・仕分けする場を設けていますか。(今年4月末時点)		○

44	地域ケア会議と他の会議や事業とが連動する体系をつくっていますか。(今年4月末時点)	/	○
45	地域ケア会議の5つの機能(①個別課題解決機能、②ネットワーク構築機能、③地域課題発見機能、④地域づくり・資源開発機能、⑤政策形成機能)すべてが果たされていますか。(今年4月末時点)		○
46	地域ケア会議の運営を評価して体系を見直していますか。(前年度実績)		○
(2) 活動目標16: 地域ケア会議の運営の仕組みを構築し、関係者に周知する。		点数	4
47	地域ケア会議の体系や目的、機能、構成員、スケジュール等の開催計画をセンターや関係機関に示していますか。(今年4月末時点)	/	○
48	地域ケア会議の運営に関してセンターとの役割分担と連携方法を関係者と共有していますか。(今年4月末時点)		○
49	センターと協力し、地域ケア会議における個人情報の取扱方針を定め、センターと共有するとともに、市町村が主催する地域ケア会議で対応していますか。(今年4月末時点)		○
50	地域ケア会議の議事録や検討事項を構成員全員が共有するための仕組みを構築していますか。(今年4月末時点)		○
(3) 活動目標17: 地域ケア会議を有効に活用する。		点数	6
51	地域ケア会議において、多職種と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じていますか。(前年度実績)	/	○
52	生活援助の訪問回数が多いケアプラン(生活援助中心のケアプラン)の検証を行い、対応策を講じていますか。(前年度実績)		○
53	地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングするルールや仕組みを構築し、かつ、実行していますか。(前年度実績)		○
54	高齢者の自立を促進する要因や阻害要因を把握して、それをもとに、高齢者の自立に資する事業(総合事業や生活支援体制整備事業等)の見直しを行っていますか。(前年度実績)		○
55	高齢者の自立を促進する要因や阻害要因を把握して、それをもとに、高齢者の自立に資する事業(総合事業や生活支援体制整備事業等)の見直しを行っていますか。(前年度実績)		○
56	複数の個別事例から地域課題を明らかにし、市町村主催の地域ケア推進会議で検討することで、政策形成につなげていますか。(前年度実績)		○
(4) 活動目標18: 地域ケア会議の運営において、センター等と協働する。		点数	4
57	センター主催の個別事例について検討する地域ケア会議(地域ケア個別会議)に参加していますか。(前年度実績)	/	○
58	センター主催の地域課題について検討する地域ケア会議(地域ケア推進会議)に参加していますか。(前年度実績)		○
59	センター主催の地域ケア会議で検討された内容を把握していますか。(前年度実績)		○
60	センター主催及び市町村主催も含めた地域ケア会議の検討内容をとりまとめて、住民向けに公表していますか。(前年度実績)		○
(6) 活動目標19: *センター指標におけるアウトプット指標・中間アウトカム指標*		点数	1
61	センター指標の「6. 地域ケア会議」に関するアウトプット指標または中間アウトカム指標を市町村が設定していますか。(今年4月末時点)	/	○

●7. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援		達成率	93.3%
		評価点数	14
(1) 活動目標20:センターや介護支援専門員が介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を適切に実施できるよう体制を構築する。		点数	7
52	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援に関する実態を踏まえ、自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関する市町村の基本方針を定め、センターと共有していますか。(今年4月末時点)		○
53	センター、介護支援専門員、生活支援コーディネーター、協議体に対して、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源に関する情報を提供していますか。(今年4月末時点)		○
54	利用者のセルフマネジメントを推進するため、介護予防手帳などの支援の手法を定め、センターと共有していますか。(今年4月末時点)		×
55	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援におけるセンターの人員体制と実施件数を把握し、人員配置を見直していますか。(前年度実績)		○
56	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際の事業所選定について、公平性・中立性確保のための指針を作成し、センターと共有していますか。(今年4月末時点)		○
57	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を居宅介護支援事業所に指定または委託する際のセンターの関与について、市町村の指針をセンターと共有していますか。(今年4月末時点)		○
58	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援について、リハビリ専門職等、多職種からの専門的な助言を得られる体制を整備していますか。(今年4月末時点)		○
59	介護予防支援を担う居宅介護支援事業所から介護予防サービス計画に係る相談を随時受け付ける体制を整備していますか。(今年4月末時点)		○
(2) 活動目標21:介護予防支援の実態を踏まえ、介護予防サービス計画の検証方法を定め運営する。		点数	5
60	介護予防支援の実態を踏まえ、介護予防サービス計画の検証方法について、センターと協議して方針を打ち出していますか。(今年4月末時点)		○
61	居宅介護支援事業所に対して、介護予防サービス計画の検証方法に関する方針を示していますか。(今年4月末時点)		○
62	介護予防サービス計画の検証を実施した結果について、センターや居宅介護支援事業所等と共有していますか。(前年度実績)		○
63	介護予防サービス計画の検証を通じて、介護予防支援や介護予防サービス計画の作成に課題がないかを整理し、課題があった場合には、課題解消のための取組を行っていますか。(前年度実績)		○
64	利用者の状態の維持・改善に向けた介護予防サービス計画でない場合、その適正化のために、地域ケア会議を活用していますか。(前年度実績)		○
(3) 居宅介護支援事業所への介護予防支援の指定(今年4月末時点)		点数	1
65	居宅介護支援事業所に対して、介護予防支援の指定を行っていますか。(今年4月末時点)		○
(4) 活動目標22: *センター指標におけるアウトプット指標・中間アウトカム指標*		点数	1

66	センター指標の「7. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援」に関するアウトプット指標または中間アウトカム指標を市町村が設定していますか。(今年4月末時点)		○
●8. 包括的支援事業(社会保障充実分)		達成率	100.0%
		評価点数	5
(1) 活動目標23: 包括的支援事業(社会保障充実分)を推進するために、センターの活動を位置づけ、その支援を行う。		点数	4
67	在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口とセンターとの連携・調整が図られるよう、連携のための会議等の開催といった情報共有の仕組みづくりなどの支援を行っていますか。(前年度実績)		○
68	生活支援コーディネーター・就労的活動支援コーディネーターや協議体とセンターの連携・調整が図られるよう、連携のための会議等の開催といった情報共有の仕組みづくりなどの支援を行っていますか。(前年度実績)		○
69	認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員またはチームオレンジコーディネーターとセンターとの連携・調整が図られるよう、連携のための会議等の開催といった情報共有の仕組みづくりなどの支援を行っていますか。(前年度実績)		○
70	センターが行う包括的支援事業の充実のために、医療関係者とセンターの合同の事例検討会や講演会等の開催または開催支援を行っていますか。(前年度実績)		○
(2) 活動目標24: *センター指標におけるアウトプット指標・中間アウトカム指標*		点数	1
71	センター指標の「8. 包括的支援事業(社会保障充実分)」に関するアウトプット指標または中間アウトカム指標を市町村が設定していますか。(今年4月末時点)		○

2. 令和7年度 地域型地域包括支援センター事業評価

資料1
別添

地域包括支援センター	天神川・荻野	稲野・鴻池	伊丹・摂陽	笹原・鈴原	桜台・池尻	花里・昆陽里	神津・有岡	緑丘・瑞穂	南	市平均
達成率	97.7%	97.7%	97.7%	97.7%	98.9%	98.9%	100.0%	96.6%	100.0%	98.4%
評価点数 (全評価項目を達成した場合=88点)	86	86	86	86	87	87	88	85	88	86.6

●1. 地域包括ケアシステムの構築・推進	センター名	天神川・荻野	稲野・鴻池	伊丹・摂陽	笹原・鈴原	桜台・池尻	花里・昆陽里	神津・有岡	緑丘・瑞穂	南	市平均
	達成率	100.0%	75.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	75.0%	100.0%
評価点数	4	3	4	4	4	4	4	4	3	4	3.8
(1) 活動目標1: 市町村全体を踏まえた担当圏域の現状および将来像やニーズを把握する。	点数	4	3	4	4	4	4	4	3	4	3.8
1	人口動態、市町村が行う介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査の結果等の量的データによって、地域の高齢者に係る現状や将来の状況等を把握していますか。(今年4月末時点)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	介護保険事業計画、老人福祉計画、地域福祉計画等から、地域の高齢者に係る課題等を把握していますか。(今年4月末時点)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3	センターが行う実態調査によって、担当圏域の現状やニーズを把握していますか。(今年4月末時点)	○	×	○	○	○	○	○	×	○	
4	相談内容や地域ケア会議等の内容を分析し、担当圏域の地域課題を把握していますか。(今年4月末時点)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
●2. 組織・運営体制	センター名	天神川・荻野	稲野・鴻池	伊丹・摂陽	笹原・鈴原	桜台・池尻	花里・昆陽里	神津・有岡	緑丘・瑞穂	南	市平均
	達成率	95.0%	100.0%	95.0%	95.0%	100.0%	100.0%	100.0%	95.0%	100.0%	97.8%
評価点数	19	20	19	19	20	20	20	19	20	19.6	
(1) 活動目標2: 市町村の実施方針に従って、地域包括支援センターの機能強化に向けた事業計画を作成し、必要に応じて業務改善を図る。	点数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0
5	市町村が定めるセンターの事業の実施方針に沿って、センターの事業計画を策定していますか。(今年4月末時点)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6	今年度のセンターの事業計画に、前年度の事業評価における課題への適切な対応策を含めていますか。(今年4月末時点)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7	市町村の実施方針や担当圏域の地域課題等を踏まえ、センターの事業計画に重点目標を設定していますか。(今年4月末時点)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
8	センターの事業計画の重点目標に基づいて達成状況を分析し、必要な業務改善を行っていますか。(今年4月末時点)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(2) 活動目標3: センターが効果的に運営できるように、組織マネジメントを行う。	点数	4	5	4	4	5	5	5	4	5	4.6
7	センター長等の責任者の役割を文書で明確に示し、職員に周知していますか。(今年4月末時点)	×	○	×	×	○	○	○	×	○	
8	センターの業務量を把握したうえで、業務の最適化を図るための対応を行なっていますか。(今年4月末時点)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
9	特定の職員に業務が偏らず、チームアプローチを推進するために業務分担のルールや仕組みづくりを行なっていますか。(今年4月末時点)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
10	センター業務にICTを活用するなど、センターの業務効率化に取り組んでいますか。(今年4月末時点)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(3) 活動目標4: センター職員の人材確保および育成を図る。	点数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0
11	センターの人材確保や定着を進めるための取組を行っていますか。(今年4月末時点)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12	センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、職場で研修を実施していますか。(前年度実績)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
13	センターに在籍する全ての職員が、計画的に職場での仕事を離れて研修(Off-JT)に参加できるようにしていますか。(前年度実績)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
14	センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、メンタルヘルズ対策を実施していますか。(前年度実績)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
15	スーパービジョンまたはコンサルテーションが受けられる体制を整えていますか。(前年度実績)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
活動目標5: 市町村が示している個人情報の取扱方針や苦情対応方針に従い、センターにおいて適切に対応する体制を整え実践する。	点数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0
16	個人情報保護に関する市町村の取扱方針に従って、センターが個人情報保護マニュアル(個人情報保護方針)を整備していますか。(今年4月末時点)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
17	個人情報の持出・開示時は、管理簿への記載と確認を行っていますか。(今年4月末時点)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

32	市町村が「1年間の相談件数」を指標として採用していますか。(今年4月末時点)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
活動目標13: *アウトプット指標 * 支援を拒否する高齢者等へのアウトリーチのケース数		点数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
33	市町村が「支援を拒否する高齢者等へのアウトリーチのケース数」を指標として採用していますか。(今年4月末時点)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
●4. 権利擁護事業	センター名	天神川・狹野	稲野・鴻池	伊丹・摂陽	笹原・鈴原	桜台・池尻	花里・昆陽里	神津・有岡	緑丘・瑞穂	南	市平均		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
	評価点数	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8.0	
活動目標14: 高齢者等の権利擁護のための普及啓発や対応を行う。		点数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6.0
34	市町村から共有されている成年後見制度の市町村長申立てに関する判断基準を確認していますか。(今年4月末時点)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
35	消費者被害に関する情報を、民生委員、介護支援専門員、ホームヘルパー等へ提供していますか。(前年度実績)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
36	消費者被害に関し、センターが受けた相談内容について、消費生活に関する相談窓口または警察等と連携の上、適切に対応していますか。(前年度実績)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
37	高齢者虐待事例および高齢者虐待が疑われる事例への対応の流れについて、市町村と共有していますか。(今年4月末時点)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
38	センターまたは市町村が開催する高齢者虐待防止に関する情報共有、議論、報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討していますか。(前年度実績)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
39	センターに在籍するすべての職員が高齢者等の権利擁護に関する研修を受講していますか。(前年度実績)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
活動目標15: *アウトプット指標 * 権利擁護に関する相談件数		点数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
43	市町村が「権利擁護に関する相談件数」を指標として採用していますか。(今年4月末時点)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
活動目標16: *アウトプット指標 * 成年後見制度の申立て支援件数		点数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
44	市町村が「成年後見制度の申立て支援件数」を指標として採用していますか。(今年4月末時点)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
●5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	センター名	天神川・狹野	稲野・鴻池	伊丹・摂陽	笹原・鈴原	桜台・池尻	花里・昆陽里	神津・有岡	緑丘・瑞穂	南	市平均		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
	評価点数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10.0	
活動目標17: 担当圏域の居宅介護支援事業所の状況を把握し、地域ケアマネジャーの支援ニーズに基づいた対応を行う。		点数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0
45	担当圏域における居宅介護支援事業所のデータ(事業所ごとの主任介護支援専門員、介護支援専門員の人数等)を把握していますか。(今年4月末時点)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
46	介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類・件数を把握した上で、研修会、事例検討会、地域ケア会議等を開催していますか。(前年度実績)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
47	担当圏域の介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者(例: 医療機関や地域における様々な社会資源など)との意見交換の場を設けていますか。(前年度実績)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
48	介護支援専門員が円滑に業務を行うことができるよう、地域住民に対して介護予防・自立支援に関する意識の共有を図るための出前講座等を開催していますか。(前年度実績)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
49	介護支援専門員を対象にした研修会や事例検討会等の開催計画を策定し、年度当初に指定居宅介護支援事業所に示していますか。(今年4月末時点)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
活動目標18: 市町村の方針に則り、介護予防サービス計画の検証を行う。		点数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0
51	市町村の方針に沿って、圏域内の居宅介護支援事業所が作成する新規の介護予防サービス計画を確認していますか。(前年度実績)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
52	市町村の方針に沿って、圏域内の居宅介護支援事業所が作成する更新の介護予防サービス計画を確認していますか。(前年度実績)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
53	市町村の方針に沿って、圏域内の居宅介護支援事業所が作成した介護予防サービス計画を抽出し、その検証をしていますか。(前年度実績)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
53	市町村の方針に沿って、圏域内の居宅介護支援事業所が作成した介護予防サービス計画を抽出し、地域ケア会議でその検証をしていますか。(前年度実績)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
55	圏域内の居宅介護支援事業所が作成した介護予防サービス計画の検証に関して、検証を行う時期を具体的に定めていますか。(今年4月末時点)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
活動目標19: *アウトプット指標 * 介護支援専門員からの相談受付件数		点数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
56	市町村が「介護支援専門員からの相談受付件数」を指標として採用していますか。(今年4月末時点)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

センター名	天神川・荻野	稲野・鴻池	伊丹・摂陽	笹原・鈴原	桜台・池尻	花里・昆陽里	神津・有岡	緑丘・瑞穂	南	市平均	
	●6. 地域ケア会議	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	評価点数	13	13	13	13	13	13	13	13		
活動目標20:センター主催の個別ケースを検討する地域ケア会議において、多様な視点から個別事例の検討を行い、対応策を講じる。	点数	7	7	7	7	7	7	7	7	7.0	
57 センター主催の地域ケア会議の運営方針を、センター職員、会議参加者、地域の関係機関に対して周知していますか。(今年4月末時点)		○	○	○	○	○	○	○	○		
58 センター主催の地域ケア会議において、多職種等と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じていますか。(今年4月末時点)		○	○	○	○	○	○	○	○		
59 市町村が共有した地域ケア会議における個人情報の取扱方針に基づき、センターが主催する地域ケア会議で適切に対応していますか。(今年4月末時点)		○	○	○	○	○	○	○	○		
60 地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングするルールや仕組みを構築・実行していますか。(今年4月末時点)		○	○	○	○	○	○	○	○		
61 センター主催の地域ケア会議において、議事録や検討事項をまとめ、参加者間で共有していますか。(前年度実績)		○	○	○	○	○	○	○	○		
62 個別事例について検討する地域ケア会議の開催回数は何回でしたか。(前年度実績)		○	○	○	○	○	○	○	○		
63 地域ケア会議で検討した個別事例の件数は何件ですか。(前年度実績)		○	○	○	○	○	○	○	○		
活動目標21:地域ケア会議において、地域課題を把握し、適切に対応する。	点数	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	
64 センター主催の地域ケア会議(地域ケア個別会議)において、地域課題の可能性のある課題を抽出していますか。(前年度実績)		○	○	○	○	○	○	○	○		
65 センター主催の地域ケア会議(地域ケア推進会議)において、地域課題や自立促進要因について共有し、その後の対応を検討していますか。(前年度実績)		○	○	○	○	○	○	○	○		
66 センター主催の地域ケア会議(地域ケア推進会議)において把握した地域課題や対応等を、市町村に報告していますか。(前年度実績)		○	○	○	○	○	○	○	○		
67 地域課題の整理・分析・対応等を行うために、市町村レベルの地域ケア会議(地域ケア推進会議)等に参加または資料提出していますか。(前年度実績)		○	○	○	○	○	○	○	○		
68 地域課題を検討する地域ケア会議の開催または参加回数は何回でしたか。(前年度実績)		○	○	○	○	○	○	○	○		
活動目標22:＊アウトプット指標＊センター主催の地域ケア会議を経て、市町村レベルの地域ケア会議に地域課題を報告した数	点数	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0	
70 市町村が「センター主催の地域ケア会議を経て、市町村レベルの地域ケア会議に地域課題を報告した数」を指標として採用していますか。(今年4月末時点)		○	○	○	○	○	○	○	○		
●7. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	センター名	天神川・荻野	稲野・鴻池	伊丹・摂陽	笹原・鈴原	桜台・池尻	花里・昆陽里	神津・有岡	緑丘・瑞穂	南	市平均
	達成率	85.7%	85.7%	85.7%	85.7%	85.7%	100.0%	85.7%	100.0%	88.9%	
	評価点数	6	6	6	6	6	7	6	7		
活動目標23:介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を適切に実施する。	点数	5	5	5	5	5	6	5	6	5.2	
71 自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関し、市町村から示された基本方針を、センター職員及び介護支援専門員に周知していますか。(今年4月末時点)		○	○	○	○	○	○	○	○		
72 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援のケアプランにおいて、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源を位置づけていますか。(今年4月末時点)		○	○	○	○	○	○	○	○		
73 利用者のセルフマネジメントを推進するため、市町村から示された支援の手法を活用していますか。(今年4月末時点)		×	×	×	×	×	○	×	○		
74 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託した場合は、台帳への記録および進捗管理を行っていますか。(今年4月末時点)		○	○	○	○	○	○	○	○		
75 市町村から示された介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際の事業所選定の公平性・中立性確保のための指針を遵守していますか。(今年4月末時点)		○	○	○	○	○	○	○	○		
76 介護予防ケアマネジメントの成果を把握するために、要支援者または事業対象者の日常生活の自立度の変化について、定期的な評価を行っていますか。(前年度実績)		○	○	○	○	○	○	○	○		
活動目標24:＊中間アウトカム指標＊介護予防ケアマネジメント対象者のうち状態が維持または改善した人の割合	点数	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0	
77 市町村が「介護予防ケアマネジメント対象者のうち状態が維持または改善した人の割合」を指標として採用していますか。(今年4月末時点)		○	○	○	○	○	○	○	○		
●8. 包括的支援事業(社会保障充実分)	センター名	天神川・荻野	稲野・鴻池	伊丹・摂陽	笹原・鈴原	桜台・池尻	花里・昆陽里	神津・有岡	緑丘・瑞穂	南	市平均
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	評価点数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
活動目標25:事業間連携を推進する。	点数	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	

78	在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口に対して、相談を行っていますか。(前年度実績)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
79	生活支援コーディネーター・就労的活動支援コーディネーターおよび協議体とともに、地域における高齢者のニーズや社会資源について協議を行っていますか。(前年度実績)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
80	認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員またはチームオレンジコーディネーターと、支援対象者に関する情報共有を図っていますか。(前年度実績)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
81	包括的支援事業の充実のために、医療関係者と合同の事例検討会や勉強会に参加していますか。(前年度実績)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
82	生活支援コーディネーター・就労的活動支援コーディネーターや協議体と協働して地域活動を促進していますか。(前年度実績)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
活動目標26: *アウトプット指標 *医療関係者と合同の事例検討会や勉強会の実施数		点数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
83	市町村が「医療関係者と合同の事例検討会や勉強会の実施数」を指標として採用していますか。(今年4月末時点)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	